

令和4年度第4回

関東学生ホッケー連盟役員会議事録

期日：2022年12月19日（月）

時間：19時30分～20時40分

場所：オンラインにて開催

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一、塩野谷住雄（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、桑原一矢、大野陽介、三澤孝康、西澤英一郎、高田良太、近藤聡史（以上常任理事）、小林翼（学連委員長）、田中悠二郎（学連副委員長）、江藤かほ（表彰委員長）、村上恭平（競技委員長）、小林晃大（審判委員長）、郷中颯人（広報委員長）、坂田絢音（財務委員長）、扇原柚子（書記）、福島諒太、味方まひろ、関本隼、内村拓人（以上学生役員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 今年のインカレの反省事項

・小林学連委員長より、JHA に提出する第71回男子・第44回女子全日本学生ホッケー選手権大会事業報告案の説明があった。大会運営での反省事項等（大会初日の運営人数不足、PC操作などの事前試行必要、有料試合以外の観客数の計測、UNIVASと連携強化～選手インタビューなどで連携不足、受付体制の見直しなど）の説明があった。また参加申込書の期限を早める必要があること（メーリングリストの事前準備）、インカレ準備の工程表の修正・改善を行う旨の説明があった。

・坂田財務委員長より、インカレ決算見込みについて報告があった。収支均衡の予算を立てたが、大井使用料が予想以上に増加。大会運営関係者の日当削減など実施も、決算では大幅な赤字（約119万円）が見込まれる。来年度の赤字削減対策として、①大井ホッケー競技場の利用時間の見直し②参加費の見直し等が提案された。最終決算は、1月の役員会で報告・承認の予定。

・郷中広報委員長より、広報活動について詳細な報告があった。「チケット販売」「パンフレット」「広告協賛」「広告代理店経由での広告協賛」「物品協賛」「SNSでの情報発信」「放送」「各種イベント企画」「会場内販売」「グッズ」の10項目について、概要・評価の説明があった。

・チケット販売：事前販売で、1日券498枚、2日券57枚、約60万円の売り上げを得た。当日販売で、421枚を販売し、事前販売の売り上げと合わせて、約100万円の売り上げを得たことが報告された。予算は180万円の売り上げを見込んでいたが、未達となった。また、チケット仕様決定の遅れ、一般客向けの事前販売申込書が配布未了、および関東学連所属の一部の大学においてチケット購入に協力いただけなかったことが、来年の改善事項との説明があった。社会人理事より「チケット販売については、来年は1回戦から全て有料試合とすることも要検討」「チケット販売は（観客を増やすためにも）重要であり、一層強化していくことが必要」との意見があった。

・大会パンフレット：配布分1400部、関係者分200部、販売分400部を想定して、2000部発注。結果として余剰発生。今後、発注先の見直しも含めて、支出削減に努める必要がある。

・広告協賛：JHL加盟チームから、新規加盟チームも含め、幅広く広告を確保できた。

・物品協賛：カンロ株式会社より提供いただき、来場者への配布などに活用。非常に好評だった。

・放送：担当の学生が実況で盛り上げてくれた。JASRAC申請は早めに行う必要があった

・各種イベント企画：品川区チアダンスチームによるハーフタイムショー、ホッケー体験会を実施した。

・会場内販売：品川区経由でキッチンカーを誘致し、売り上げ保証するために、大会運営関係者へ食券配布という形で出店頂いた。消防への届け出は早めに行いたい。ホッケーショップ4店舗に、出店条件として一律2.5万円の広告協賛をお願いした。パンフレット送付が遅れ注意を受けたことは反省。

・グッズ：Tシャツの販売を行い、事前予約142枚、当日販売18枚の計160枚発注。売れ残りはなし。

・江藤表彰委員長より、表彰式関係者との連絡が滞ったこと（三須会長への連絡）、3・4位表彰式の開催場所や参加人数の改善、表彰物の運搬方法（表彰物を大井に保管できないため、学生役員の自宅などに保管、車で運搬せざるを得なかった。来年に向けて改善が必要）との説明があった。

・一川副会長（インカレ運営委員長）より、幾つかの要因が重なり、赤字が膨らんだなどの反省材料は多々あるが、大会は非常に盛会との印象。THAでは多くの大会を大井で開催したが、比較してみると、インカレの盛り上がりは随一であった。他の方からも同様の意見をいただいた。3年ぶりの大井開催で、関係者は大変だったが、総じて良い大会運営だったとの意見があった。

2. 来年度の委員長・副委員長について

・来年度の委員長・副委員長について小林委員長から報告があり、承認した。来年度の委員長・副委員長の候補は以下の通りである。

・学連委員長 福島 諒太（慶応義塾大学2年）

・学連副委員長 関本 隼（学習院大学2年）、味方 まひろ（学習院大学2年）

なお、来年度の委員長・副委員長の承認は来年2月に実施される総会での承認を経て正式に就任となる。

また、専門委員会委員長および書記選出は、学連委員長の指名により選出され、同じく総会での承認を経て、正式に就任となる旨の報告があった。

3. 日学連法人化に伴う（関東学連からの）役員・正会員の選出について

・宮澤事務局長より、日学連法人化移行に伴う（関東学連からの）役員候補者選出・正会員選出についての説明があった。

・UNIVAS加盟の必須条件として、日学連の法人化が必要であり、所属する地区学連からは、「役員候補者・正会員選出」を求められている。役員候補者については、現在、関東学連から選出している日学連役員を、横滑りのイメージで、法人化の役員に選出する。また正会員については、同様に現状の日学連業務執行に係わりのある方を、選任することとしたもの。

・役員候補者選出（8名）は以下の通り、選出することが承認された。

古屋忠彦、寺本祐治、久我晃広、宮澤哲郎、小林翼、成田健一、三澤孝康、塩野谷住雄

・正会員選出（5名）は以下の通り、選出することが承認された。

寺本祐治、久我晃広、宮澤哲郎、成田健一、三澤孝康

【報告/連絡事項】

1. コンプライアンスセミナー実施報告

田中審判委員長より、秋季リーグ、インカレにおけるコンプライアンスセミナーの実施報告が行われた。

2. 今後の日程について

・宮澤事務局長より今後の日程について報告があり、以下日程で進めることを確認した。

引継ぎ会議：1月21日土曜日 17時～ 集合方式で実施予定

第5回役員会：1月23日月曜日 19時半～ オンライン会議にて実施予定

2022年度総会：2月25日土曜日 19時～ オンライン会議にて実施予定

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 小林翼